

日本計量新報

計測と科学
毎週日曜発行
日本計量新報社
東京都千代田区神田錦町3-11-8
(武蔵野ビル)
〒101-0054 TEL 03-3295-7871
FAX 03-3295-7874
http://www.keiryou-keisoku.co.jp/
振替口座 00140-5-12935
購読料年間25,000円(消費税別)

産総所とMORESCO

ガス・水蒸気透過率測定装置開発

MORESCOと産業技術総合研究所のナノ材料研究部門、工学計測標準研究部門は、フィルム状試料のガス・水蒸気透過率を測定する従来の等圧法、差圧法とは異なる新たな方法(MA法: Modified differential pressure method with an Attached support)を共同で開発した。MA法に基づいた測定装置も開発した。

測定に必要な時間を短縮

今回開発したMA法により、測定試料両側の圧力差が測定試料に与えるダメージ(試料表面に形成されたガスバリア層の損壊等)を最小限に抑え、測定時間を大幅に短縮できるようになった。装置の構造が簡素化されたため、感度も向上した。

MA法は、水蒸気に加えて酸素等のガス成分も測定できるため、高い水蒸気バリア性が求められる有機デバイスや太陽電池分野のみならず、酸化による品質劣化を防ぐため酸素バリア性が重要な食品・医薬品包装分野、水素を取り扱う燃料電池

MA法は、水蒸気に加えて酸素等のガス成分も測定できるため、高い水蒸気バリア性が求められる有機デバイスや太陽電池分野のみならず、酸化による品質劣化を防ぐため酸素バリア性が重要な食品・医薬品包装分野、水素を取り扱う燃料電池



見やすいバックライト付大型表示 ¥33,000(税抜)

オーバルが米国子会社 OEM 契約拡大、新規受注目指す

オーバル(東京都新宿区上落合3-10-8、谷本淳社長)は、米国の拠

点として、テキサス州ヒューストンにオーバルの100%子会社として、OVAL Corporation of Americaを設立した。コリオリ流量計の組立・修理および販売が目的で、7月からの操業開始を予定している。オーバルは、今回の子会社設立により、2015年にコリオリ流量計(質量流量計)に関して相手先ブランド名製造(OEM)契約を締結しているカメラン社(Cameron Corporation of America)

【所在地】米国テキサス州ヒューストン
【代表者】池田國高
【事業内容】コリオリ流量計の組立・修理および販売
【資本金】100万USドル
【設立年月】2017年4月
【操業開始】2017年7月(予定)
【出資比率】100%
【決算期】12月



大和製衡株式会社 tel:078-918-5577 http://www.yamato-scale.co.jp/

今週の主な記事

- 産総研とMORESCO、ガス・水蒸気透過率測定装置を開発、オーバル米国子会社設立、産総研人事ほか①面
- 人事異動「特定商分類表」の掲載にあたって②面
- 「特定商品の分類ハンドブック」③面
- JCSS登録・認定事業者「一覧」④面
- NMS研究報告(9月)⑤面
- 第3四半期決算の、社説⑥面
- 新製品(等高精度)、不確かさセナ情報、計報ほか⑧面

産業技術総合研究所 光子1つが見える「光子顕微鏡」

産業技術総合研究所物羽一樹主任研究員は、従来計測標準研究部門量子光学顕微鏡では観測できない極めて弱い光で光計測研究グループ福田大治研究グループ長、丹

羽一樹主任研究員は、従来計測標準研究部門量子光学顕微鏡では観測できない極めて弱い光で光計測研究グループ福田大治研究グループ長、丹

観察できる「光子顕微鏡」を世界で初めて開発した。光子顕微鏡は、試料からの光が極めて弱くて光検出器の検出限界を下回ると観測できないという欠点がある。

産総研は、同所が開発した超伝導光センサーを用いて「光子顕微鏡」を開発し、光子数個程度の極めて弱い光でカラー画像の撮影に世界で初めて成功した。

産業技術総合研究所人事

副理事長に三木幸信氏

計量標準総合センター長に白田孝氏

産業技術総合研究所 産総研計量標準総合センター(産総研)の副理事長に、三木幸信(理事、計量標準総合センター(NMI)長)に、白田孝(産総研NMIJ研究戦略部長、国際度量衡委員)氏が就任した。4月1日付。

産総研計量標準総合センター(NMI)長に、白田孝(産総研NMIJ研究戦略部長、国際度量衡委員)氏が就任した。4月1日付。

産総研計量標準総合センター(NMI)長に、白田孝(産総研NMIJ研究戦略部長、国際度量衡委員)氏が就任した。4月1日付。

温度・湿度の校正はSATOKI

株式会社 佐藤計量器製作所
JCSS 官場工場 校正技術課

〒101-0054 TEL 03-3295-7871 FAX 03-3295-7874

圧力計測機器の校正は長野計器グループへ



豊富な校正機器、充実した校正設備で様々なニーズにお応えします。



高いスキルを持ったスタッフが丁寧にJCSS校正作業をおこなっています。

長野計器とナガノ計装は、計量法に基づく圧力の校正事業者です。



長野計器株式会社 品質保証部(JCSS0080)と株式会社ナガノ計装 計測器校正サービスセンター(JCSS0143)は、認定基準としてISO/IEC 17025(JIS Q 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。

長野計器 本社/〒143-8544 東京都大田区東馬込 1-30-4 TEL 03-3776-5311 FAX 03-3776-5320 http://www.naganokeiki.co.jp/

ナガノ計装 本社/東京営業所 〒143-0022 東京都大田区東馬込 1-30-4(長野計器ビル) TEL 03-5718-3281 FAX 03-5718-0238 http://www.nagano-keiso.co.jp

117年の伝統とイノベーションの計量装置総合システムメーカーです。

OMI 計量と制御の技術集団

OMIの製品<支えるのはイノベーション>

- 各種工業用プラント
- 各種農水産物選別プラント
- 液体・粉粒体充填装置
- 配合・調合計量システム 設計・製造
- トラックスケール計量・データ管理システム
- トレーサビリティ管理システム
- 各種穀物用計量機

多様なニーズに110余年の技術開発とノウハウでご提案します。

計量システムの専門メーカー



伝統の技術・先進の技術・信頼の技術
近江度量衡株式会社
本社 〒525-0054 滋賀県草津市東矢倉 3-11-70
TEL.077-562-7111 FAX.077-562-7116
【国内拠点】本社草津工場・東京・札幌・帯広・仙台・新潟・熊本・久留米
【海外拠点】韓国(仁川)・中国(上海)・タイ(バンコク)
URL:http://www.omiscale.co.jp